

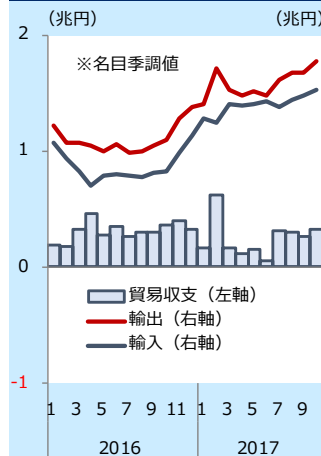
# 日本：貿易統計（2017年10月）

## — 米国向け自動車輸出は一服も輸出は好調を維持 —

# MRI Daily Economic Points

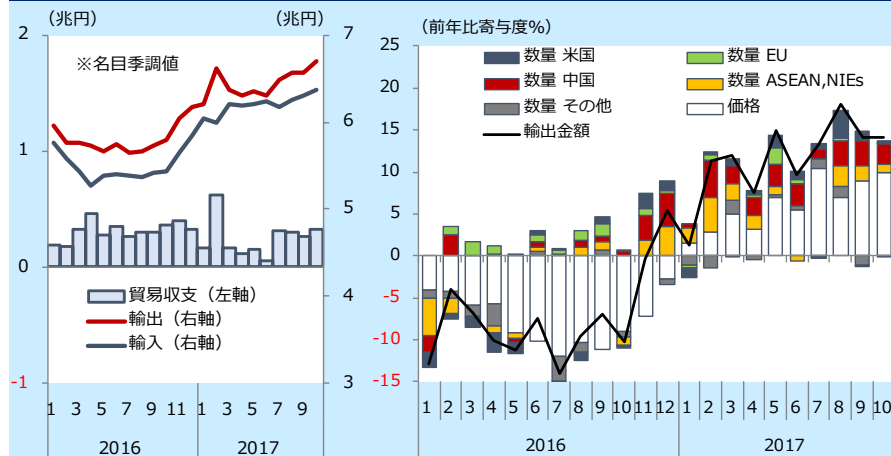
## November 20, 2017

### 貿易収支



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成

### 輸出額の寄与度分解



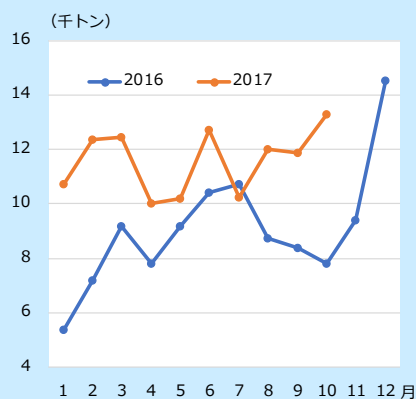
### 評価ポイント

#### 2017年10月の結果

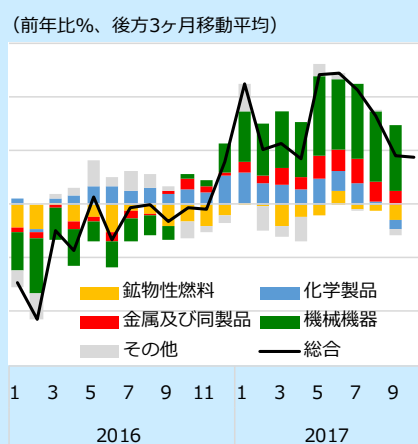
- 17年10月の貿易統計は、輸出金額が前年比+14.0%と11ヶ月連続で増加。輸入金額は同+18.9%となり、輸出金額を超える伸びとなった。貿易収支の季調値は+3,229億円と前月比+21.1%増加し、24ヶ月連続で黒字。
- 円安による輸出価格上昇の影響を除いた輸出数量の伸びは前年比+3.8%となり、前月（+4.8%）からやや鈍化したが、9ヶ月連続でプラス。米国向けの自動車輸出数量は前年比▲7.2%と17年4月以来のマイナスとなったが、16年10月が前年比+12.6%と大きな伸びを示した影響もあり、輸出台数そのものは月間約15万台と16年の平均値（約14.6万台）を上回っている。アジア向けの半導体等製造装置は、スマートフォン需要拡大を背景に大幅な伸びを継続しており（前年比+70.2%）、特に中国（同+194.7%）、韓国（同+40.7%）の伸びが著しい。
- 輸入数量は前年比+3.2%と前月の微減（同▲0.2%）から増加に転じた。一方、3ヶ月移動平均で見ると前年比はまだ横ばいとなっている。

### アジア向け半導体等製造装置輸出

### 品目別の輸入数量



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成



#### 基調判断と今後の流れ

- 輸出は、米国向け自動車輸出に一服感はあるものの、世界的な半導体需要の増加を背景とした半導体製造装置の輸出増などに支えられ、好調を継続している。
- 先行きの輸出は、堅調な世界経済を背景に、引き続き緩やかな回復を持続すると見込む。半導体製造装置の輸出については、スマートフォン関連需要の飽和により来年にかけてやや調整が入る可能性はあるものの、トレンドとしてはAIやIoT関連需要、車載需要が引き続き堅調を持続するとみられ、大きな下振れはないと予想される。